



いずみ

令和6年4月8日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



コミュニティ
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

令和6年度の和泉小学校

校長 鷲見 真太郎

令和6年度が始まりました。進級した子供たちの表情にも、期待や喜びがあふれています。

今回の学校だよりには、学校経営方針全体構想図を同封しております。学校教育目標をはじめ大幅にリニューアルし、内容は大きく3つの柱建てにしました。

まずは、教育目標。開校以来のものを、思い切って変更しました。理由は、時代とともに学校に求められるものが変わっていること。それ故に、今の子供たちに必要なものに改めるべきだと考えました。そこで、この目標は、直接指導する、本校の全教職員で話し合っ紡ぎ出しました。

「目指す学校の姿」を新たに設定しました。これまで、子供たちの声や発想を取り入れてきた活動をさらに広げ、保護者や地域のかもお借りして、より活動を充実させよう、という本校の考え方を明確にするためです。

「目指す児童の姿」の項目の名称とともに変えています。子供たち自身の「自己愛」をもとに、自分の居場所を見つけ、自分らしく成長していくことを目指していきます。そして、そのベースとして「ウェルビーイング」と「エージェンシー」を掲げています。こちらは・・・ここでの説明は紙面の都合上控えます。

3つの柱の1つ目、「問いをもって学び続ける児童」について。こちらは本校の校内研究の主題でもあります。子供たちの「問い」を大事にし、それを出発点に、子供たちとともに学習計画を立て、高学年では、学習方法も自分たちで選択し、展開していけるよう、各教科で研究し、推進していきます。そうした、子供たち中心の学びを重ねることで、主体的な学び手を育てます。

2つ目の柱「自分たちで作る和泉小学校」。今年度から「児童運営委員会」を立ち上げ、和泉小をよりよくしていくアイデアを、子供たち自身で話し合い、実現していきます。これまで積み上げてきた流れをさらに加速させ、学校の熱気が高まることを期待しています。

3つ目は、全てのベースとなる柱「児童全員の居場所づくり」。こちらは、私の着任当初から取り組んできたものをさらに発展させ、学校が子供たちを「常識」や「良識」といった枠に閉じ込めすぎず、生きやすい場所としてより変えていきます。副題の「みんな同じじゃなくていい」ことや、「きちんと」や「ちゃんと」ということで子供たちを縛らないことが、より多くの子供たちの居場所づくりにつながると考えます。

以上、簡単ではございますが、今年度の学校経営方針について、説明させていただきました。5月号では、教務主任から、今年度の具体的な教育課程について説明させていただきます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

4月の生活目標

学校のきまりを守ろう

- 登下校の時刻や通学路を守ろう。
- 廊下は静かに右側を歩こう。

4月の安全指導

安全な登下校について

- 通学路の歩き方や横断歩道の渡り方
事故が起こらないように周りを見ながら安全に注意して登下校できるように指導します。